

# 中小企業景気動向調査（県西地区版）

令和8年1～3月期実績と令和8年4月～6月期見通し  
 ≪特別調査≫中小企業経営者のライフデザイン

前期（令和7年10月～令和7年12月期実績）  
 今期（令和8年1月～令和8年3月期実績）  
 来期（令和8年4月～令和8年6月期予想）

## 調査方法

- 調査日 令和8年3月上旬
- 調査地域 小田原市、南足柄市、秦野市、足柄上郡、足柄下郡、中郡
- 全調査先数 当庫取引先317社
- 調査対象 当庫取引先314社  
 （製造業27.4%、卸売業10.8%、小売業16.6%、サービス業18.5%、建設業18.8%、不動産業8.0%）
- 有効回答率 99.1%
- 分析方法 各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（DI・判断指数）を中心にして分析を行いました。

## 業種別業況天気図（県西地区）

	令和7年 1月～3月	令和7年 4月～6月	令和7年 7月～9月	令和7年 10月～12月	今期 令和8年 1月～3月	来期見通し 令和8年 4月～6月
総合						
製造業						
卸売業						
小売業						
サービス業						
建設業						
不動産業						



# 総合

## 景況

### 業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

#### 業況DI

今期

来期



前期比10.6ポイント低下の▲9.3となり、前回調査時の今期予想DIである▲7.7を下回り、前年同期DIの▲9.6を上回りました。  
業種別では製造業は改善、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業は悪化となりました。  
また、来期については、0.3ポイント改善の▲9.0となる見通しです。

#### 売上DI

今期

来期



前期比32.8ポイント低下の▲16.9となり、前回調査時の今期予想DIである▲12.7を下回り、前年同期DIの▲11.1も下回りました。  
業種別ではすべての業種で悪化となりました。  
また、来期については、12.7ポイント改善の▲4.2となる見通しです。

#### 収益DI

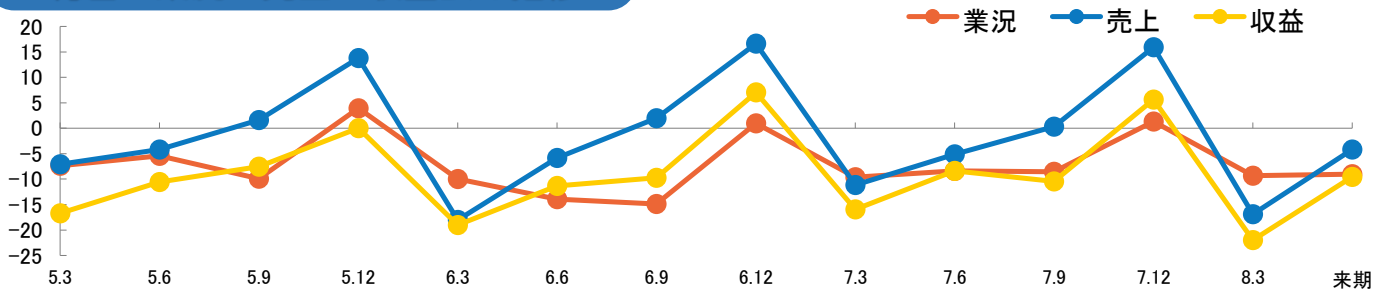
今期

来期



前期比27.6ポイント低下の▲22.0となり、前回調査時の今期予想DIである▲17.0を下回り、前年同期DIの▲15.9も下回りました。  
業種別ではすべての業種で悪化となりました。  
また、来期については、12.4ポイント改善の▲9.6となる見通しです。

### 総合 業況・売上・収益DIの推移



### 地区別のDI

#### 業況DI・地区別推移

地区	7.12	8.3	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	12.7	▲ 2.4	▲ 15.1	▲ 4.0	▲ 1.6
小田原川東・中郡	▲ 16.7	▲ 15.1	1.6	▲ 7.7	7.4
足柄上郡・秦野	▲ 19.5	▲ 10.6	8.9	▲ 16.3	▲ 5.7
足柄下郡	22.4	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 12.5	6.3

#### 売上DI・地区別推移

地区	7.12	8.3	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	22.2	▲ 10.2	▲ 32.5	5.6	15.8
小田原川東・中郡	9.5	▲ 35.8	▲ 45.4	▲ 5.7	30.2
足柄上郡・秦野	0.0	▲ 4.7	▲ 4.7	▲ 14.0	▲ 9.3
足柄下郡	32.7	▲ 35.4	▲ 68.1	▲ 10.4	25.0

#### 収益DI・地区別推移

地区	7.12	8.3	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	13.5	▲ 22.8	▲ 36.3	▲ 3.2	19.7
小田原川東・中郡	2.4	▲ 32.1	▲ 34.5	▲ 7.5	24.5
足柄上郡・秦野	▲ 11.9	▲ 11.6	0.3	▲ 16.3	▲ 4.7
足柄下郡	18.4	▲ 27.1	▲ 45.5	▲ 16.7	10.4

#### 業況DI推移

業況DIは小田原川東・中郡地区、足柄上郡・秦野地区では改善、小田原中央地区、足柄下郡地区では悪化となりました。

また、来期の業況DIについては、小田原川東・中郡地区、足柄下郡地区では改善となり、小田原中央地区、足柄上郡・秦野地区では悪化となる見通しです。

#### 営業店のコメント

##### 小田原中央地区

- 多くの企業で売上は一定水準確保しているものの、仕入価格や建築資材の高騰により収益を圧迫している。
- 国際情勢の不安定さや、原油価格高騰の懸念もあることから、見通しには不透明感が強い。

##### 小田原川東・中郡地区

- 業種を問わず、多くの事業者が売上の停滞・減少や人手不足を経営上の課題としている。

##### 足柄上郡・秦野地区

- 設備投資については予定しないとの回答が多いものの、補助金を利用した設備投資に積極的な事業者は多い。
- 価格転嫁のための交渉が進展があった事業者は収益改善に至っており、価格転嫁の可否で業績が分かれている。

##### 足柄下郡地区

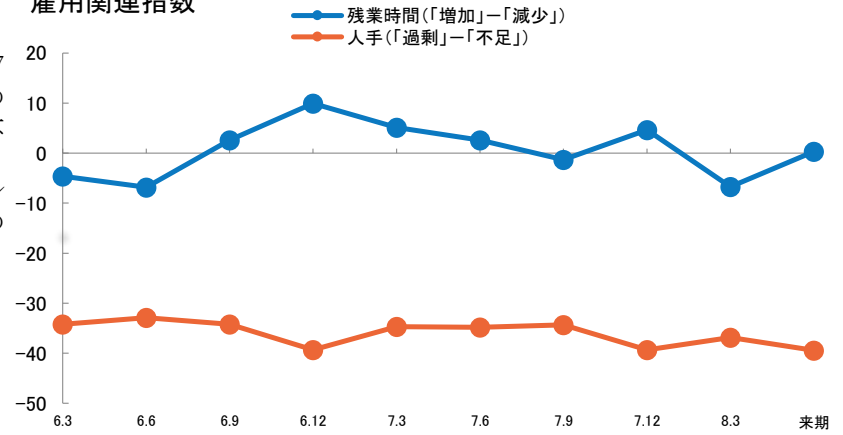
- 2月の大雪や中国人観光客の減少等の影響もあるが限定的であり、わずかながら回復の兆しを感じる。
- 材料価格・仕入価格の上昇が経営課題として多くあげられ、収益悪化の最大要因となっている。

## 雇用

残業時間DIは前期比11.4ポイント低下の▲6.7となり、人手DIは前期比2.4ポイント上昇の▲36.9となりました。残業時間は減少し、人手不足感は弱まりました。

なお、来期については残業時間DIは7.0ポイント上昇の0.3となり、人手DIは2.5ポイント低下の▲39.4となる見通しであり、残業時間は増加し、人手不足感は強まる見通しです。

### 雇用関連指数

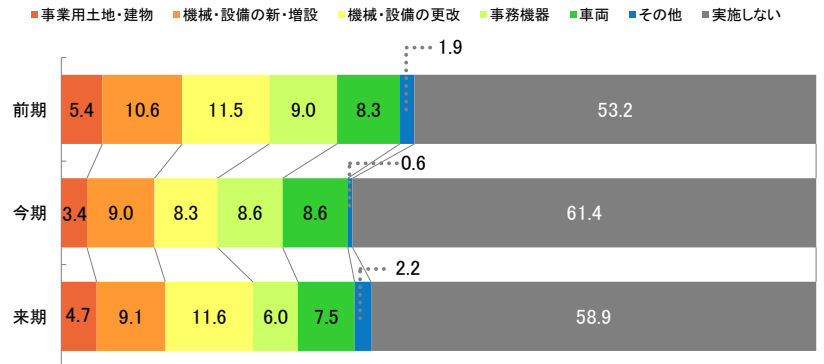


## 設備投資

今期の設備投資の実施状況については「車両」は増加となる一方で、「事業用土地・建物」・「機械・設備の新・増設」・「機械・設備の更改」・「事務機器」・「その他」は減少となりました。なお、「実施しない」は増加し、設備投資意欲は低下しました。

来期の設備投資の実施予定については、「事業用土地・建物」・「機械・設備の新・増設」・「機械・設備の更改」・「その他」は増加となる一方で、「事務機器」・「車両」は減少となる見通しです。なお、「実施しない」は減少し、設備投資意欲は高まる見通しです。

### 設備投資の実施状況(複数回答、単位:%)

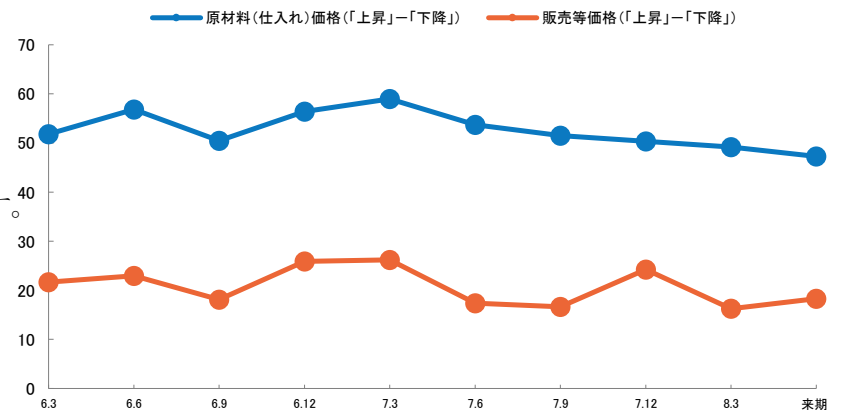


## 販売・仕入価格

販売等価格DIは前期比8.1ポイント低下の16.2となり、原材料(仕入れ)価格DIは前期比1.1ポイント低下の49.2となりました。

なお、来期については、販売等価格DIは2.1ポイント上昇の18.3となり、原材料(仕入れ)価格DIは1.9ポイント低下の47.3となる見通しです。

### 価格関連指標

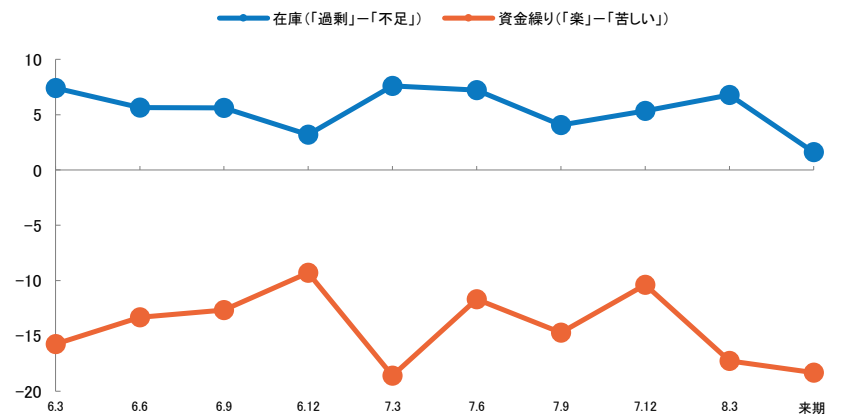


## 在庫・資金繰り

在庫DIは前期比1.5ポイント上昇の6.8となり、資金繰りDIは前期比6.9ポイント低下の▲17.3となりました。

なお、来期については、在庫DIは前期比5.2ポイント低下の1.6となり、資金繰りDIは1.0ポイント低下の▲18.3となる見通しです。

### 在庫・資金繰り指標



好調←



→低調

改善



横這い



悪化

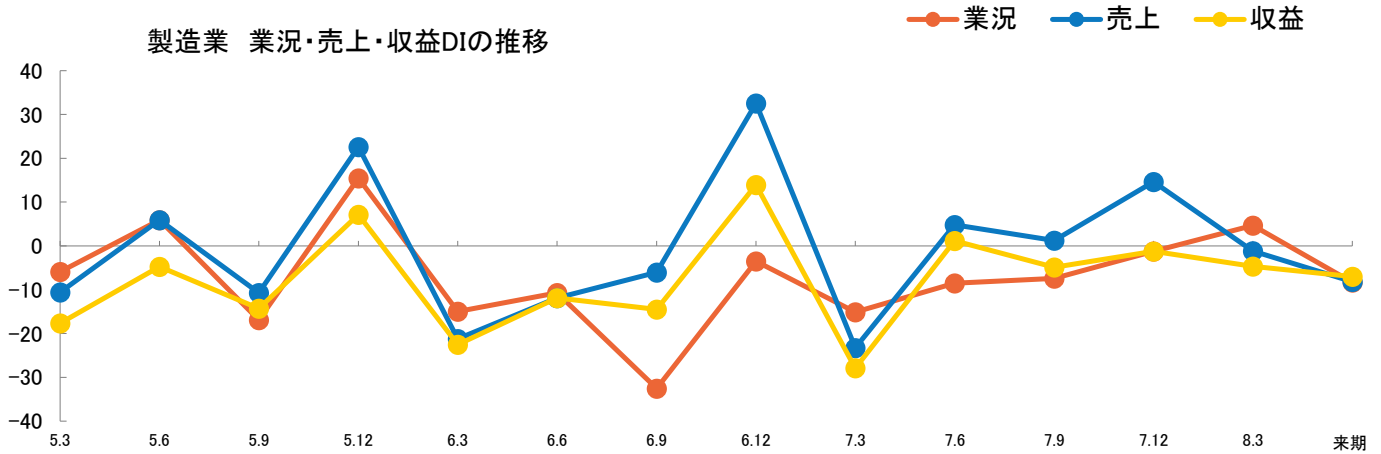


# 製造業

## 景況

### 業況DIは改善、売上DIは大幅に悪化、収益DIは悪化

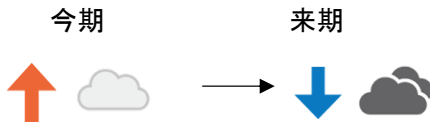
業況DIは、前期比5.9ポイント改善の4.7となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲1.2を上回り、前年同期DIの▲15.1も上回りました。来期については、13.0ポイント悪化の▲8.3となる見通しです。



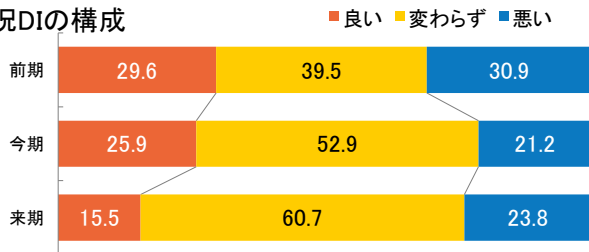
## 業況・売上・収益DI

## その他の指標推移

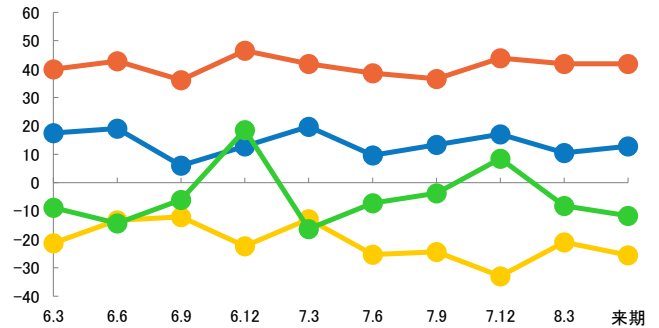
### 業況DI



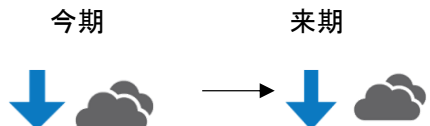
#### 業況DIの構成



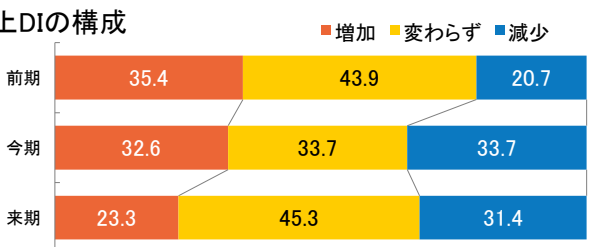
— 原材料（仕入れ）価格（「上昇」-「下降」）  
— 販売等価格（「上昇」-「下降」）  
— 人手（「過剰」-「不足」）  
— 受注残



### 売上DI

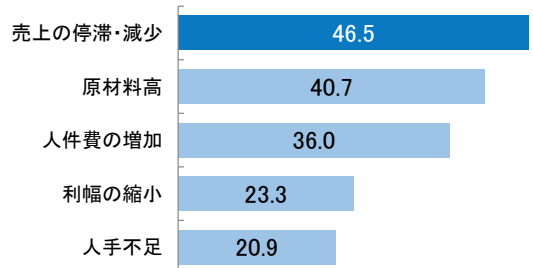


#### 売上DIの構成

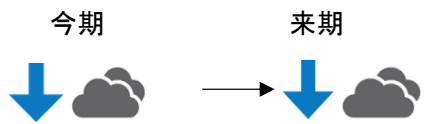


## 経営上の問題点

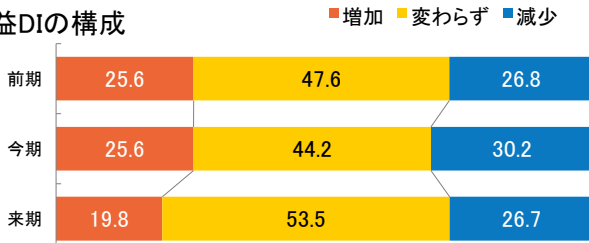
(複数回答、単位：%)



### 収益DI

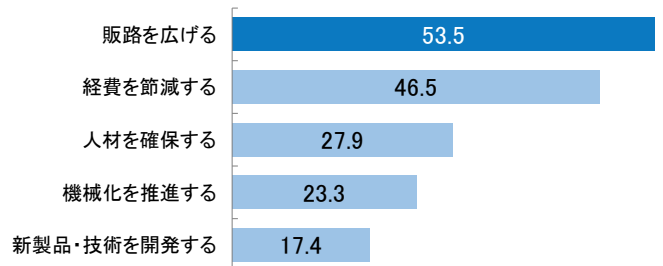


#### 収益DIの構成



## 当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)

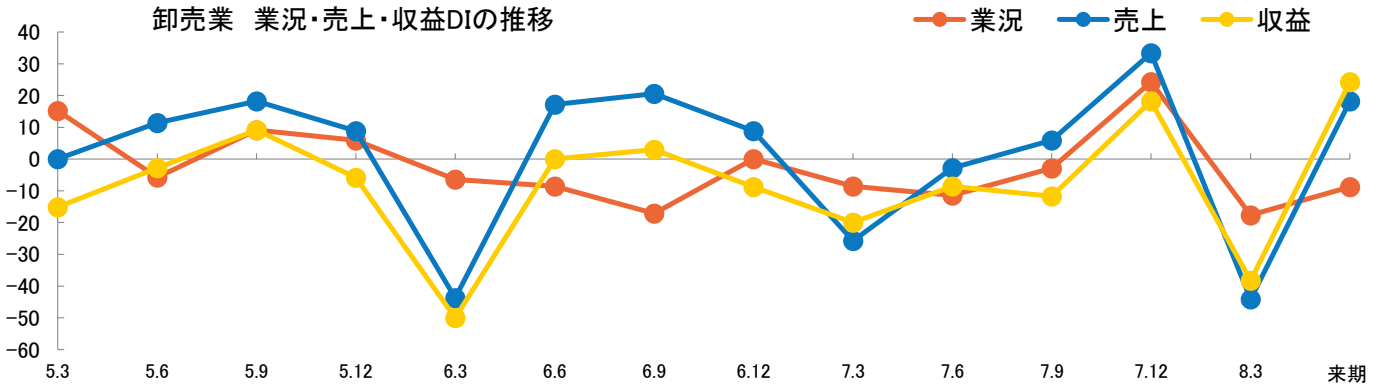


# 卸売業

## 景況

業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化、

業況DIは、前期比41.8ポイント悪化の▲17.6となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲18.2を上回りましたが、前年同期DIの▲8.6は下回りました。来期については、8.8ポイント改善の▲8.8となる見通しです。

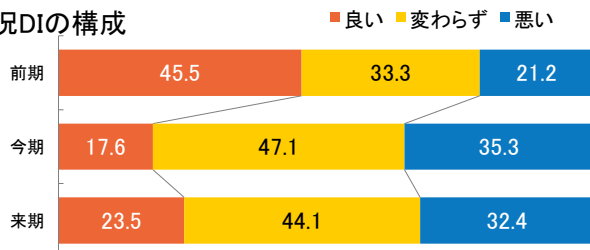


## 業況・売上・収益DI

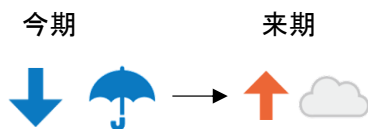


### 業況DI

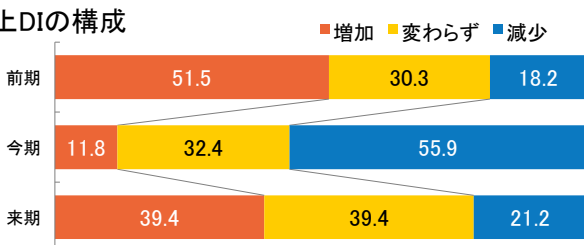
#### 業況DIの構成



### 売上DI



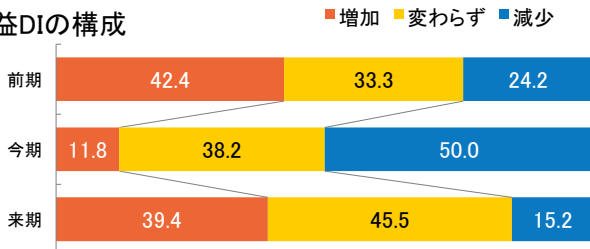
#### 売上DIの構成



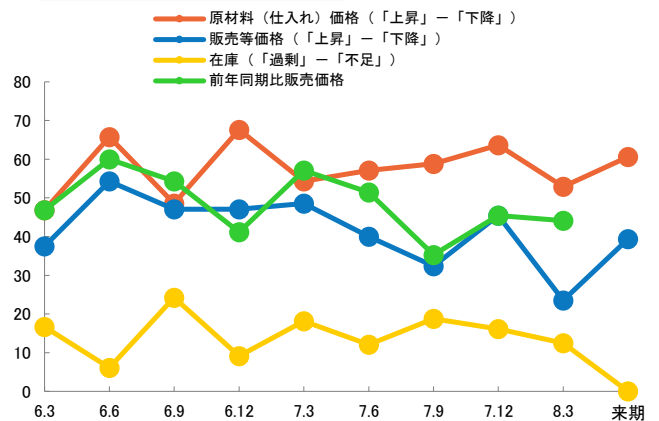
### 収益DI



#### 収益DIの構成

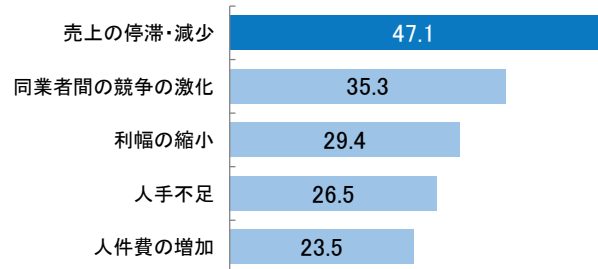


## その他の指標推移



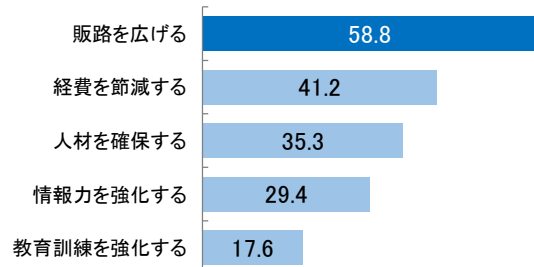
## 経営上の問題点

（複数回答、単位：%）



## 当面の重点経営施策

（複数回答、単位：%）



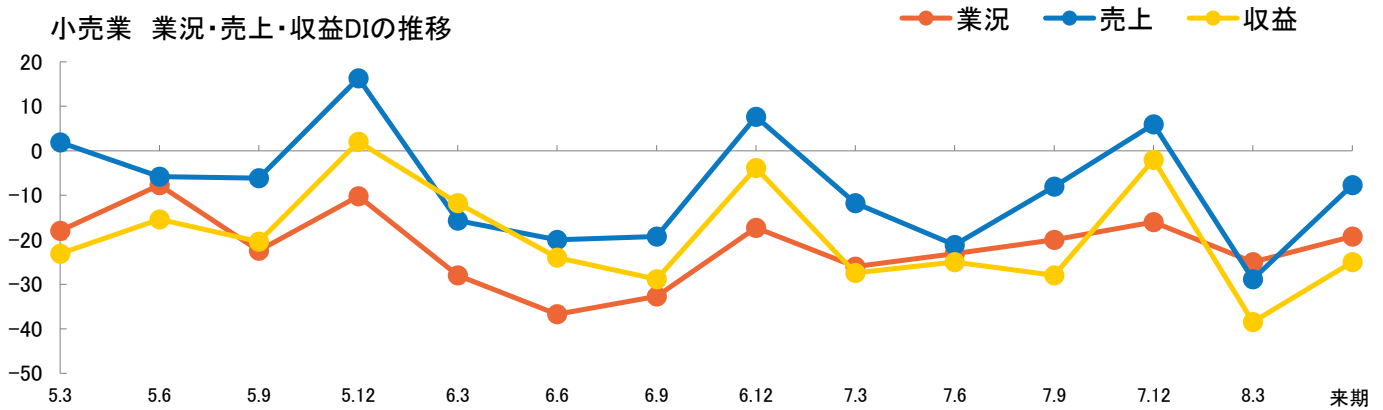
# 小売業

## 景況

### 業況DIは悪化、売上DI・収益DIは大幅に悪化

業況DIは、前期比9.0ポイント悪化の▲25.0となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲18.0を下回りましたが、前年同期DIの▲26.0を上回りました。来期については、5.8ポイント改善の▲19.2となる見通しです。

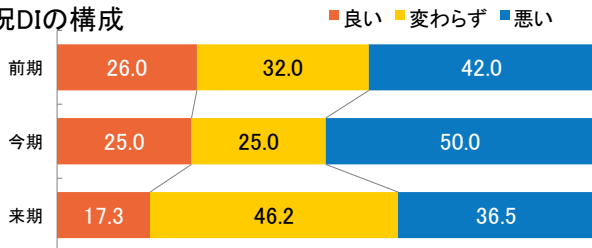
小売業 業況・売上・収益DIの推移



## 業況・売上・収益DI



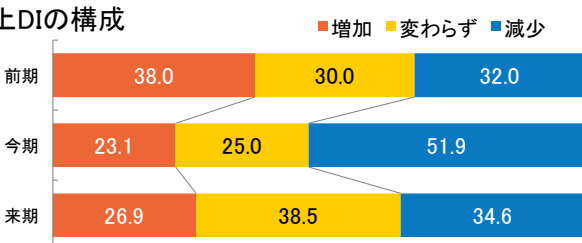
業況DIの構成



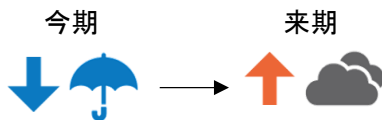
## 売上DI



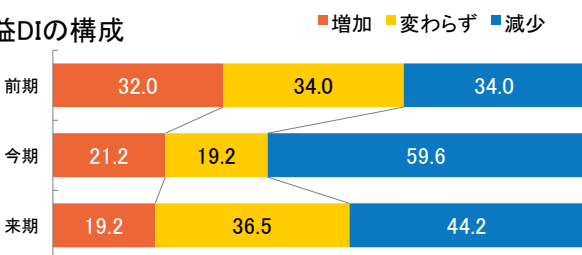
売上DIの構成



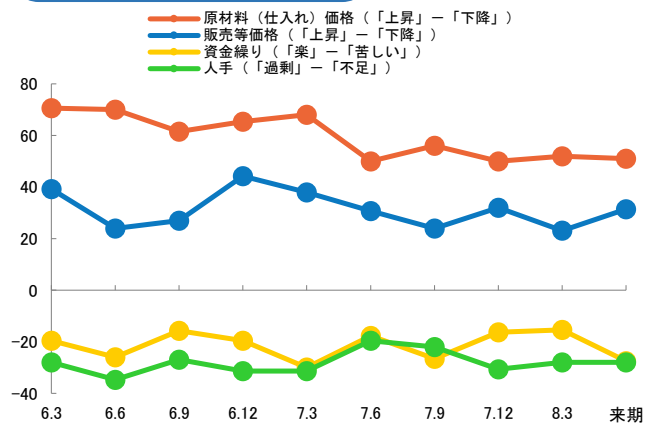
## 収益DI



収益DIの構成

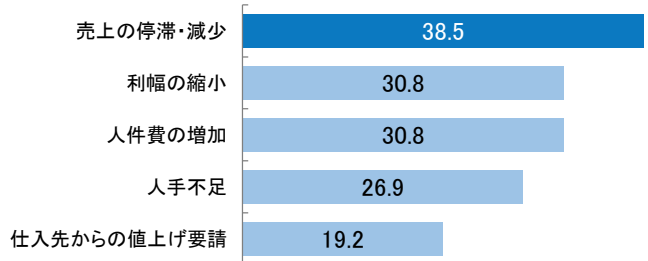


## その他の指標推移



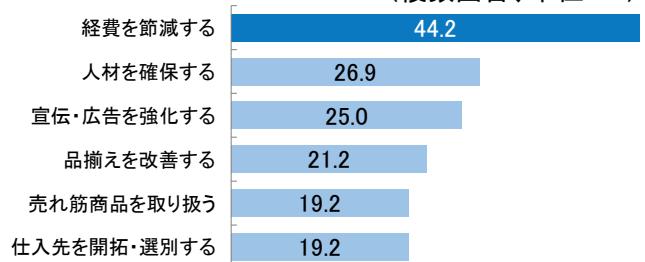
## 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



## 当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



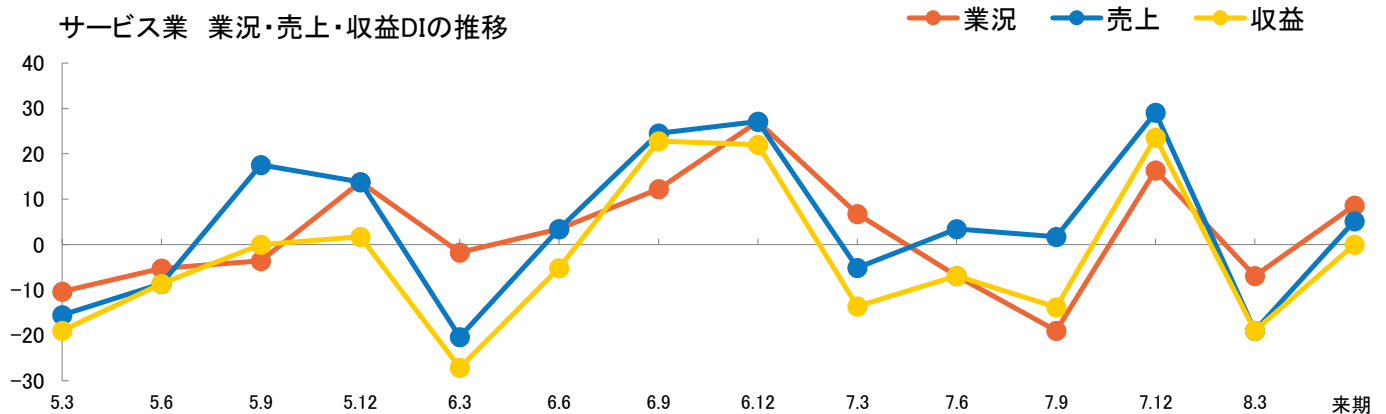
# サービス業

## 景況

### 業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

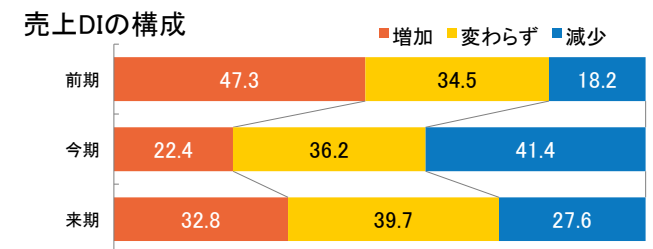
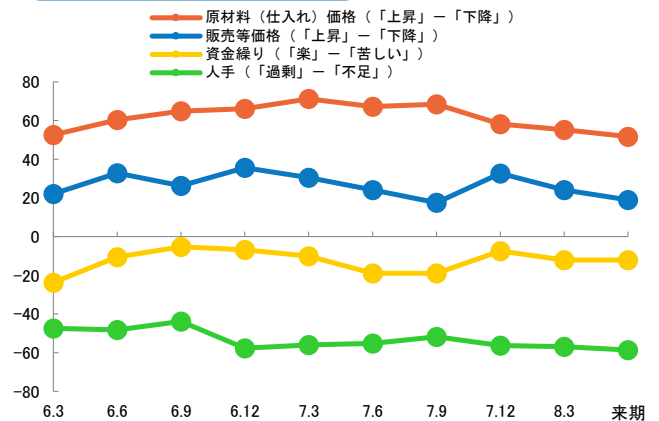
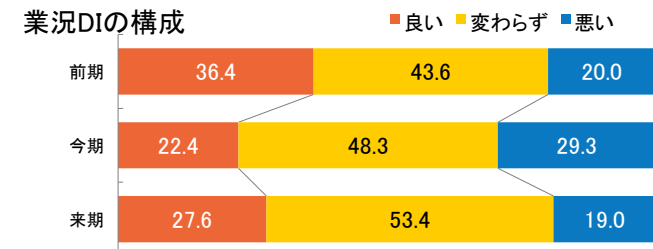
業況DIは、前期比23.3ポイント悪化の▲6.9となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである0.0を下回り、前年同期DIの6.8も下回りました。来期については、15.5ポイント改善の8.6となる見通しです。

サービス業 業況・売上・収益DIの推移

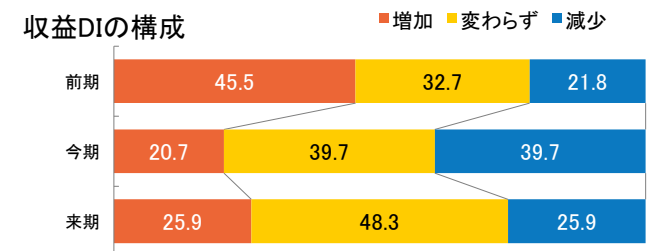
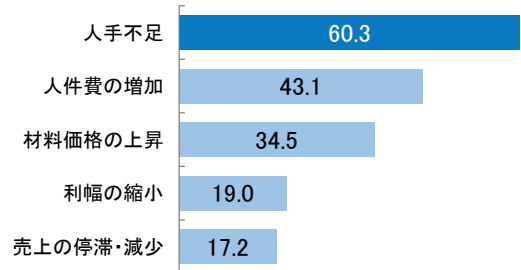


## 業況・売上・収益DI

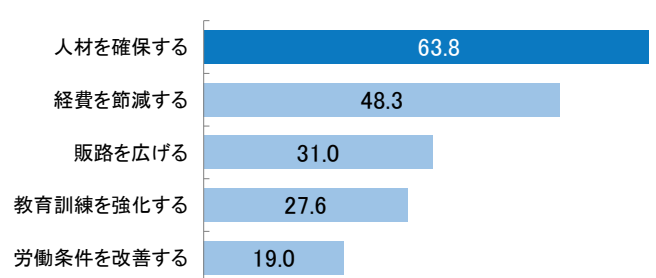
## その他の指標推移



## 経営上の問題点 (複数回答、単位：%)



## 当面の重点経営施策 (複数回答、単位：%)



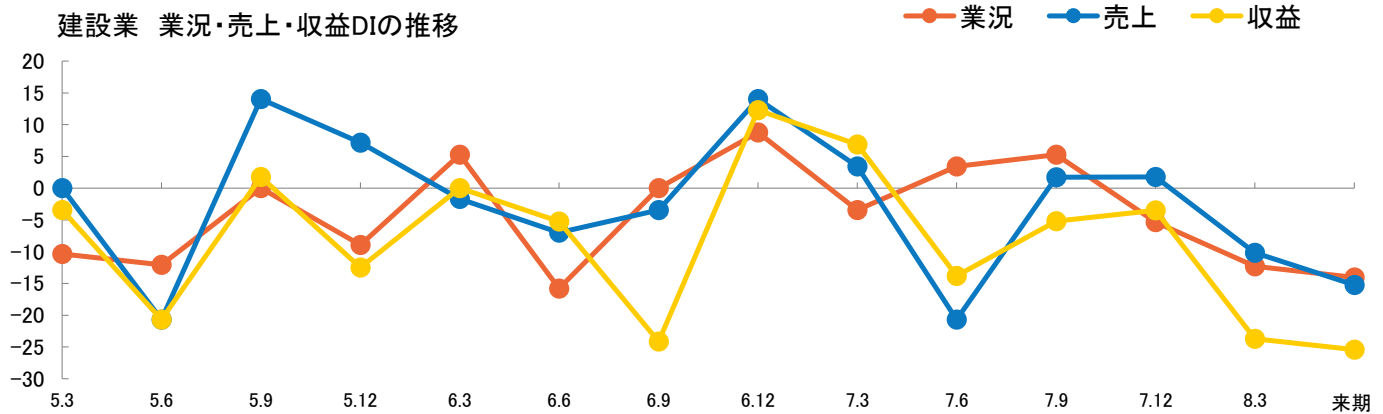
# 建設業

## 景況

### 業況DIは悪化、売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

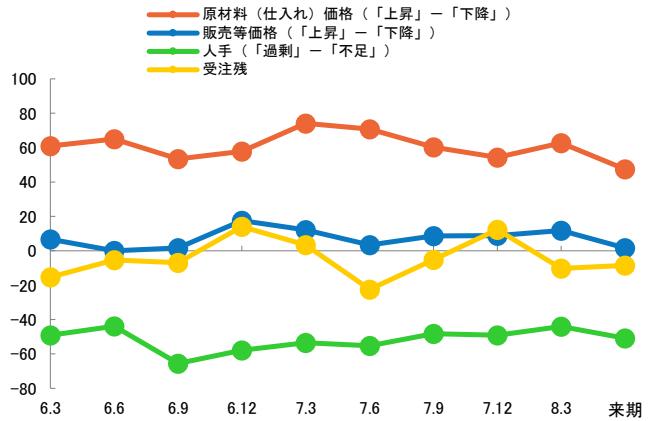
業況DIは、前期比6.9ポイント悪化の▲12.3となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲7.1を下回り、前年同期D Iの▲3.4も下回りました。来期については、1.7ポイント悪化の▲14.0となる見通しです。

建設業 業況・売上・収益DIの推移

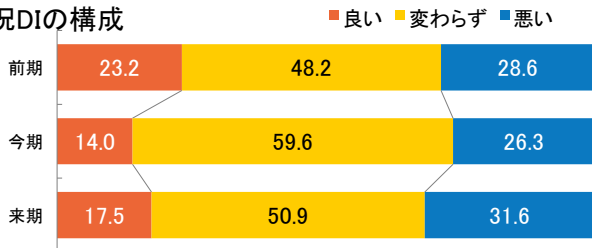


### 業況・売上・収益DI

### その他の指標推移



業況DIの構成



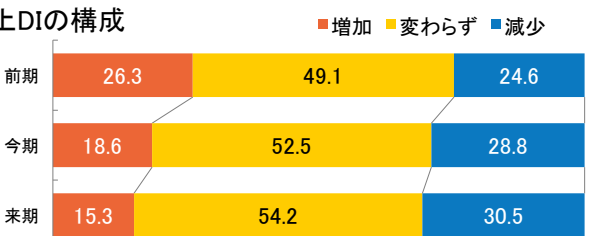
### 売上DI



### 経営上の問題点

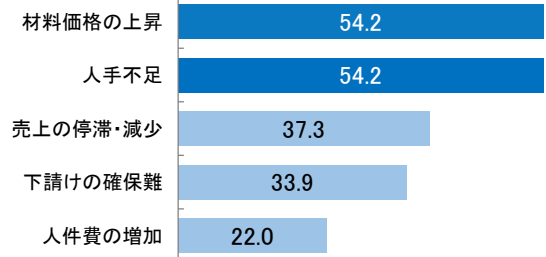
(複数回答、単位：%)

売上DIの構成

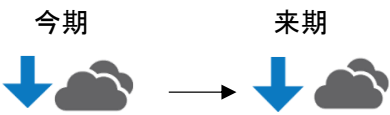


### 当面の重点経営施策

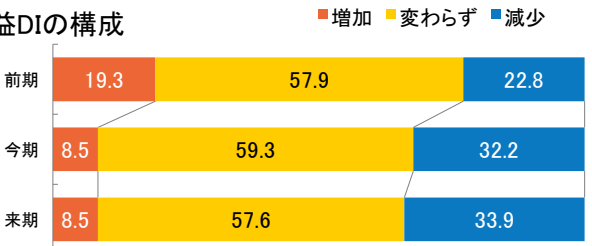
(複数回答、単位：%)



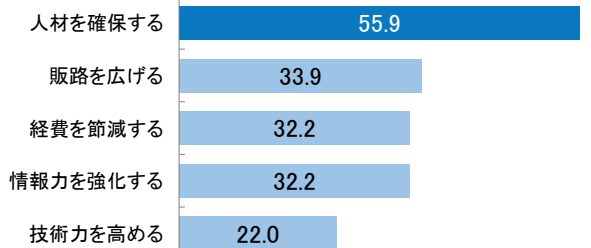
### 収益DI



収益DIの構成



### 当面の重点経営施策



# 不動産業

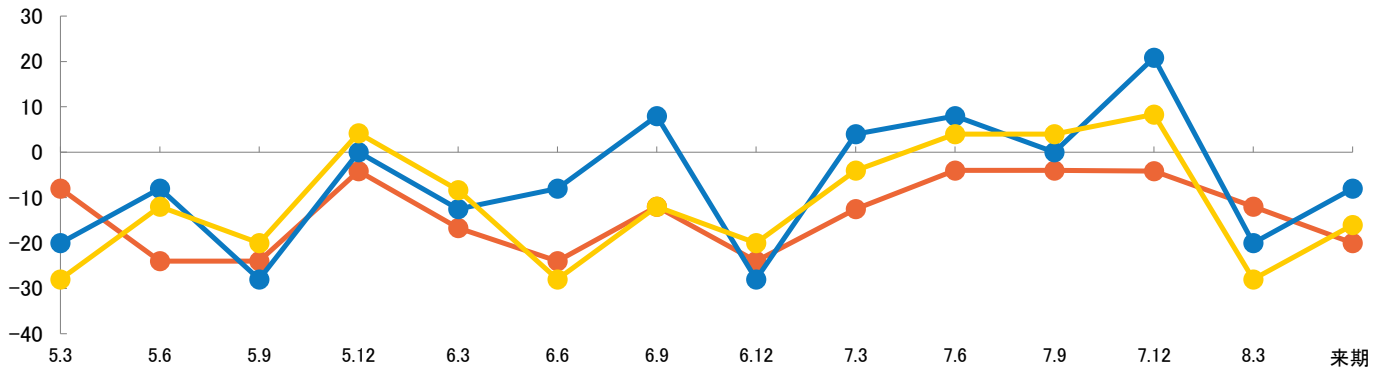
## 景況

### 業況DIは悪化、売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

業況DIは、前期比7.8ポイント悪化の▲12.0となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲12.5を上回り、前年同期DIの▲12.5も上回りました。来期については、8.0ポイント悪化の▲20.0となる見通しです。

不動産業 業況・売上・収益DIの推移

● 業況 ● 売上 ● 収益



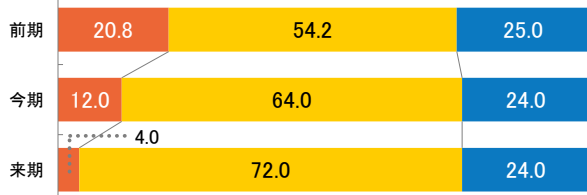
### 業況・売上・収益DI

### その他の指標推移



業況DIの構成

■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

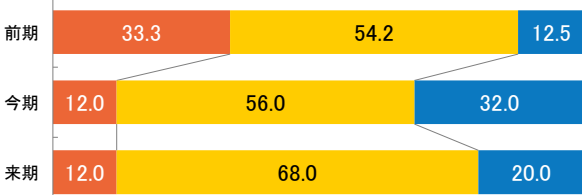


### 売上DI



売上DIの構成

■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

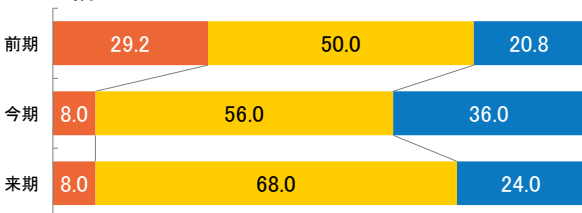


### 収益DI

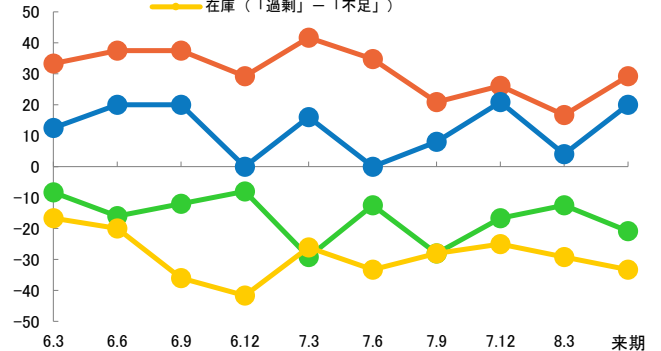


収益DIの構成

■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

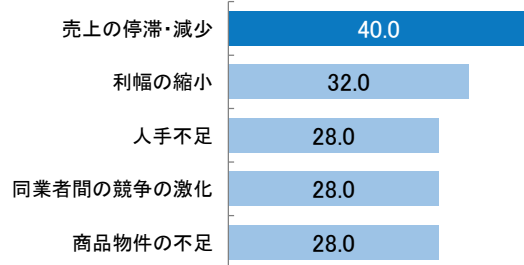


● 原材料(仕入れ)価格(「上昇」-「下降」)  
● 販売等価格(「上昇」-「下降」)  
● 資金繰り(「楽」-「苦しい」)  
● 在庫(「過剰」-「不足」)



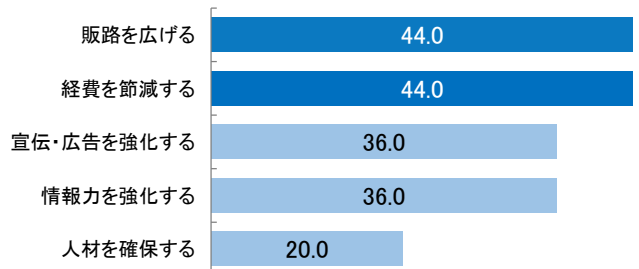
### 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



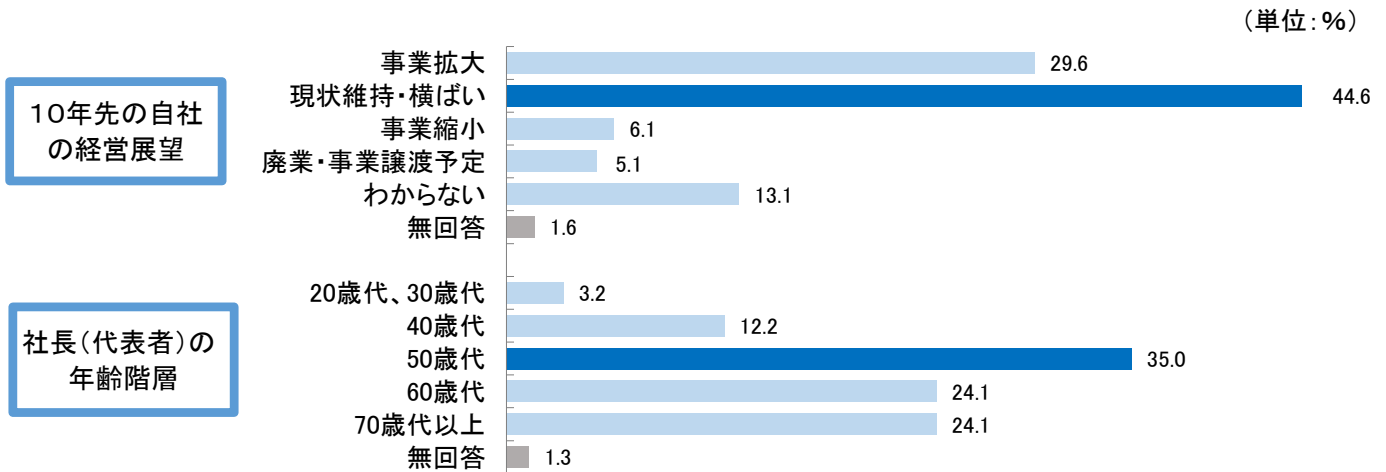
### 当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



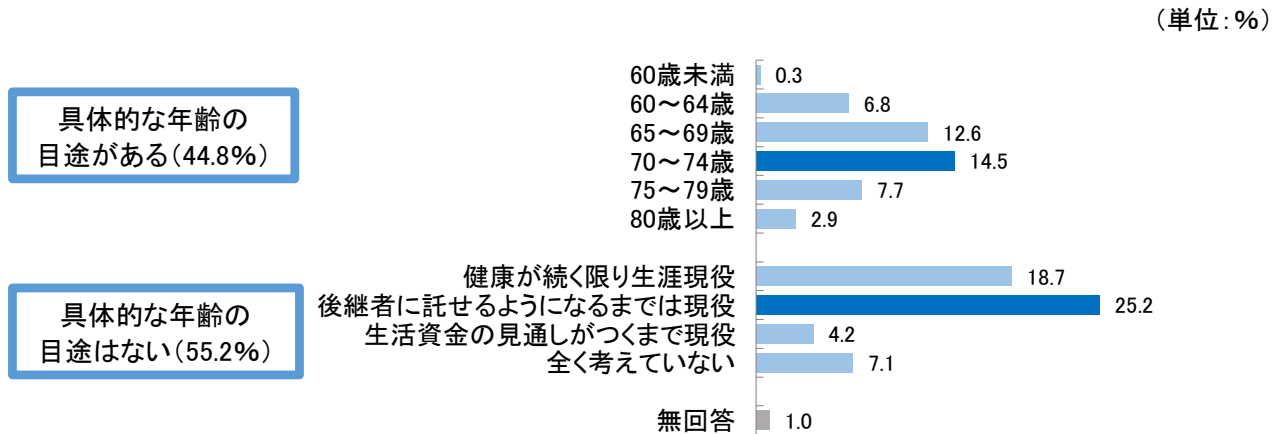
問1

社長(代表者)は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。併せて、現在の社長(代表者)の年齢階層をお答えください。(各1つ回答)



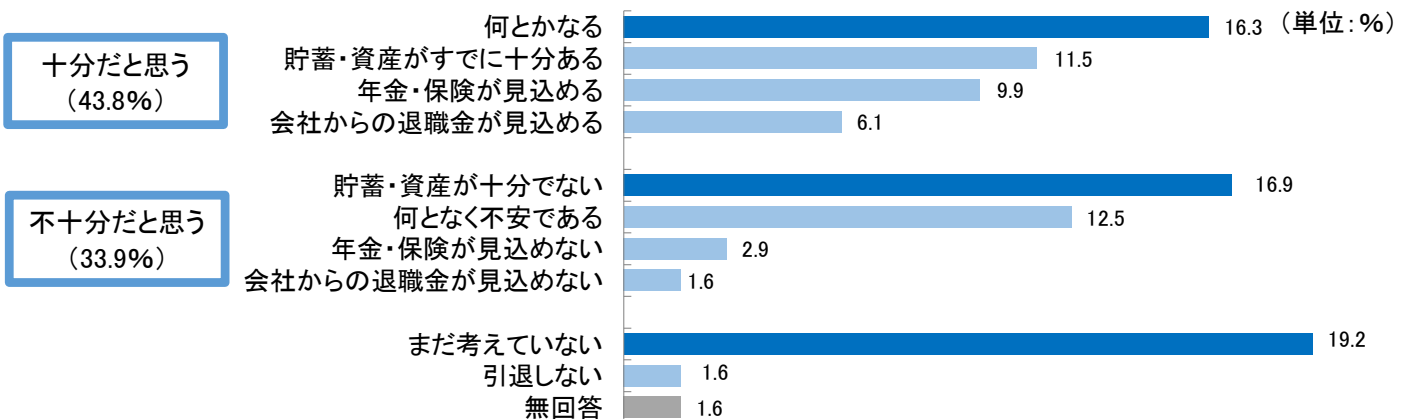
問2

社長(代表者)は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は年齢を、そうでない方は最も当てはまるにものをお答えください。(1つ回答)



問3

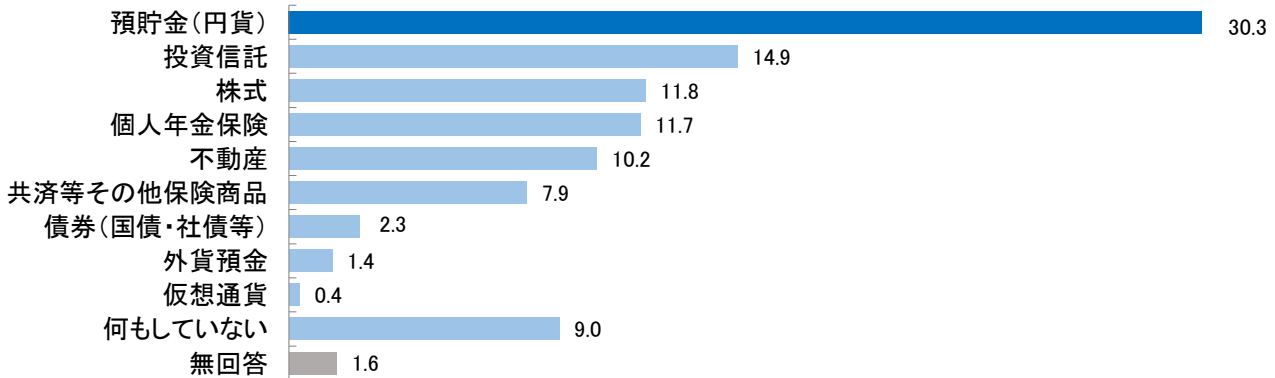
社長(代表者)は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。(1つ回答)



## 問4

社長(代表者)は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃいますか。(最大3つ回答)

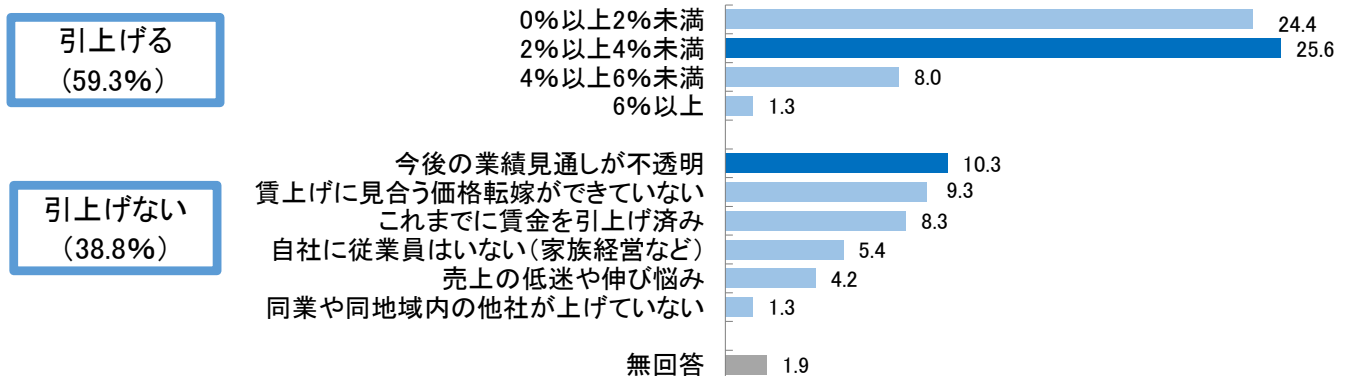
(単位:%)



## 問5.特別設問

貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の上げを実施(実施予定を含む)しますか。引上げる場合はその賃上げ率について、引上げない場合はその理由についてお答えください。(1つ回答)

(単位:%)



## 特別調査に関する営業店のコメント

- 引退した後の生活資金について「まだ不十分だと思う」と回答した代表者は多かった。物価上昇に連動した報酬増加に至っておらず、個人資産形成に対しても不十分な状況を反映しているものと判断される。
- 自社の経営展望については、現状維持・横ばいに続き、事業拡大と捉える事業者が多く、事業拡大を選ぶ事業者は50歳代の経営者が大半であることから、若い経営者ほど将来を前向きに捉えている結果が如実に表れた。経営者の現役に対する考えは千差万別であり、後継者次第といった回答が多い。
- 賃金引上げについては、実施する先と実施しない先があり、自社の業績が堅調な先とそうでない先(価格転嫁できない、業績が不透明)で二分化している。賃上げをしないと人材が集まらないと理解しつつも賃上げ基調が続く中で、自社業績との兼ね合いで実施できない事業者も増えつつある。
- 代表者の高齢化も著しいが、退職後の生活資金を十分に準備している代表者は少ない印象であり、更なる事業承継や資産形成のニーズ喚起の必要性を感じている。

企業のお悩み、

# アスリート職員が解消

します！！

さがみ信用金庫アスリート職員  
堀内 迪弥（ほりうち みちや）  
湘南ベルマーレフットサルクラブ主将  
元フットサル日本代表

## 01 ストレッチ講座 健康経営

座りながらできるものから本気のものまで、ご要望に応じてメニューを組むことができます。



## 02 講演・研修 人材育成

アスリート職員としての活動実績やキャリアのお話、その他企業向けの研修を行うことも可能です。

## 03 フットサル講座 チームビルディング

フットサルを通じて交流♪  
プロの技を間近で見られるのも、  
うれしいポイントです。



出張料・講師料

**完全無料**

※さがみ信用金庫の  
営業エリアに限る

メニューは一例です。  
参加される方の年齢層や目的に応じて、プログラムの組み立ても可能です。

まずは **お気軽に** お問い合わせください♪

さがみ信用金庫 総合企画部（担当：堀内）  
☎ 0465-24-3162 souki@sagami-shinkin.co.jp

# さがみ信用金庫

総合企画部

TEL : 0465-24-3162

E-mail : souki@sagami-shinkin.co.jp

バックナンバーは当金庫ホームページをご覧ください

さがみ信用金庫 景気動向調査

さがみ信用金庫ホームページ

URL : <https://www.shinkin.co.jp/sagami/aboutus/trends/index.shtml>

